



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日  
チャーター認証日 1989年5月2日  
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE  
2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO  
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7:00  
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)  
第二例会：翌週土曜日 午後4:00

## 2016年10月号ブリテン 第316号

### 2016-2017年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right  
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う  
「私達の未来は、今日より始まる」 (カナダ)  
「ワイズ運動を尊重しよう」 (台湾)  
「明日に向かって、今日動こう」 (川越クラブ)  
「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」  
「足元を固め更なる飛躍」

会長 御園生 好子  
副会長 江原 修一  
書記 長津 徹  
会計 柴田 弘子  
直前会長 大谷 博愛  
担当主事 岡田 ナスカ

Our Motto 国際標語  
国際会長 Joan Wilson  
アジア会長 Tung Ming Hsiao  
東日本区理事 利根川 恵子  
あずさ部部長 浅羽 俊一郎  
サンライズ会長 御園生 好子

### 10月第一例会のお知らせ

とき 10月13日(木曜日) 19:00~  
ところ 東京YMCA山手センター  
かいひ 500円  
とうばん (巻組)小山(久)、内迫、小野田、菰淵、染谷、長津

#### ◆プログラム

開会点鐘	会長
ワイズソング・ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジターの紹介	会長
卓話 『棒歩きの勧め』 富士五湖クラブ	小池亦彦さん
テイस्टィング・タイム	一同
ハッピーバースデー	会長
協議・報告・連絡事項	会長・各担当
にこにこ・一分間スピーチ	出席者全員
閉会点鐘	会長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で  
伊丹亭 21:15~

### 10月以降の予告

10月16日(日) 山手バザー 山手センター 10:00~  
10月16日(日) 第二例会 山手センター 16:00~  
10月22日(土) あずさ部部会 在日本韓国YMCA 13:30~  
11月15日(火) 山手3クラブ合同例会 山手センター 18:30~  
11月19日(土) 第二例会 山手センター 16:00~  
12月 3日(土)~4日(日) 山中クリスマス合同例会 13:00~

### 9月第一例会報告

島田 茂

9月第一例会の卓話者には、島田の友人で東京新聞記者の鈴木賀津彦氏をお招きしました。鈴木氏とは、私が富山YMCAに赴任し第4回NGO列島縦断フォーラムの事務局長を引き受けた際に初めてお会いし、その時以来の付き合いです。鈴木氏は、系列の北陸中日新聞高岡支局長だったのですが、新聞記者と言うより市民活動家と言う方がふさわしく、地域の課題を解決しようとする市民団体を元気にするために、市民からの発信を大切に、また、メーリングリストなどでNPO関係者を繋ぐ働きをしていました。とやまNPO広場というメーリングリストでしたが、富山県の主要な市民活動家や行政マン、そして、県外のキーパーソンが登録し、非常に活気ある情報が交換されました。それらのつながりが発展し、「NGO・NPOネットワークとやま」という富山県に市民運動を活性化させる組織が開設し、島田が事務局長を担いました。「NGO・NPOネットワークとやま」は、県内のNGO・NPOを応援するネットワークとして、富山YMCAを中心に様々な団体、個人が参加し、県や市のボランティアの催しを委託されるなど行政と市民の橋渡しの役割を担いました。

鈴木氏は、いつも市民の側に立ち、地域での小さな取り組みを懸命に支えるために奔走しています。今回は、新聞を一方通行のメディアとするのではなく、読者と新聞を繋ぐ取り組みについて、「今を読み、伝えること—東京新聞記者として市民と共に歩む」というタイトルでお話ししていただきました。

今回の卓話も非常に分かりやすく、温かみのある語り口で聞き手を惹きつけました。二次会にも鈴木さんは参加され、楽しいひと時を過ごすことができました。

【次頁へ続く】

### 10月のハッピーバースデー

5日 小山 憲彦 さん  
8日 染谷 千妃路 さん  
24日 柴田 弘子 さん  
27日 深田 晶也 さん

### ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう  
青少年のためにYMCAに尽くそう  
世界的視野を持って国際親善を計ろう  
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう  
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

### 9月例会出席者

在籍 18名  
メン 10名  
メネット・コメット 0名  
ゲスト・ビジター 1名  
出席率 56%

●9月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg) ●ニコニコ：4,700円(累計：12,105円) ●プルタブ：0.0kg(累計：0.0kg)



東京新聞お勧めですよ。以下は、鈴木氏の卓話のレジメです。(報告：島田)

\*\*\*\*\*  
**<今を読み、伝えることー東京新聞記者として市民と共に歩む>**  
**「情報の受け手ではなく、読者が発信者になる」**

2016/9/8 東京新聞 鈴木賀津彦

3.11後の「メディア」状況を問い直し、そして、現代の動きから課題を探るとー。

新聞をはじめマスメディアについて、特に原発報道などで言われるように、信頼しなくなった人が増えていると指摘されるようになりました。なぜなのでしょう。ジャーナリズムが劣化していると言われていますが、そうなのでしょう。一緒に考えるために、身近なところから議論の材料を出せればと思い、まずは私が取り組んできた仕事を紹介しながら、「メディア」に求められていることを見つけてみましょう。

★マスメディアの報道を今、どう感じていますか？

★3.11後に私たちに見えてきたこと 「共感する」つながり  
 → 一緒に紙面をつくる

「読者応答室」の私の仕事からーくあくまで鈴木を試みです。余計な仕事をしています>

・ どうして「裏方」の「読者応答室」が注目されたのだろう。「お詫びした」から？

2012年6月21日の「応答室だより」再稼働抗議デモの不掲載について

反響＝「これは新聞界の常識を破る、画期的な『お詫び記事』だった」(魚住昭氏)

・ 日隅一雄さんからの公開質問状「今回の記事は官僚を喜ばせるだけだと思う」

5月14日1面「政治家の懐」＝おいしい「年収7千万円」

18日番外編 日隅さんの指摘を受け書いた「公設秘書給与民主主義の必要経費」

→ ブログ<無謬性の呪縛を乗り越えた東京新聞は本物だと思ふ〜ぜひ、購読を>

<言論の広場(パブリックフォーラム)としての役割。これこそ民主主義の実践>

<東京新聞を支える><割と簡単にできる民主主義を深化させる手段だと思ふ>

・ 新聞記者はスーパーマンではない。ネットワークで専門性を高める努力。

例えば、「投稿写真」のミス 7月24日発言欄「私の1枚」

読者から誤りの指摘が殺到 → ミスを隠さず、信頼の関係を築く工夫

読者は単なる読み手、情報の受け手ではなく、一緒に紙面をつくる仲間

・ 2013年2月7日の東京新聞 「安全基準」の表記を読者の指摘で「規制基準」にー

※<九条俳句>問題は、どのようにニュースになったか。

個人の怒り → マスメディア

①なぜ、「市民メディア」なのか キーワードは「共感する世界」

②地域づくりとメディアの役割 「当事者メディア」

③地域情報化を担う者 ～自治体とNPO、マスコミ等 「多様な価値観」

④市民メディアとマスメディア 「協働と連携」

「情報革命」って何だろう、市民メディアとマスメディアの

コラボレーション(協働)の時代です。

⑤情報の受け手から発信者に 「情報リテラシー」

いつまでも受け身でいては、メディアリテラシーは身につかない。

まず、発信者になってもらう、その生活者が発信する当事者メディアを活かせば、新聞はもっと豊かな「社会空間」をつくりだせる。新聞がコミュニティをつないでいく。

出席者：御園生会長、小山(憲)、小山(久)、菰淵、柴田、島田、菅原、長津、岡田主事、鈴木さん(卓話者)

## 第二(お散歩)例会報告

柴田弘子

9月17日(土)総武線本八幡駅に12時集合。参加者はちょっと寂しい4名でした。目的の蕎麦屋を御園生さんがスマホで調べながらやっと見つけてみると、駅すぐの細路地の奥に古民家風の「一茶庵」がありました。座敷に落ち着き一般向きと書いてある「せいろ」と、蕎麦がきを打ったような太くて硬め、日本酒にはぴったりの「挽ぐるみ」をそれぞれ注文。美味しかった蕎麦と、お酒も少々入り満足して店を出ました。まずは不知森神社(八幡の藪知らず)へ。諸説があるようですが「足を踏み入ると二度と出てこられない」という神隠し伝承でも有名。竹藪は人の入ることができない程、青竹と倒竹が密集して見るからに禁足地でした。数分先の葛飾八幡宮へ。丁度農具市(ぼろ市)で参道には屋台等出ていました。賑わいもなく閑散としていて、ゆっくり散歩することが出来ました。随神門を通りぬけると境内は広く、本殿、神楽殿、4基の神輿、樹幹が千本あるが如く見える千本公孫樹(推定樹齢1200年・国の天然記念物)を見て回りました。次の目的地は千葉の鎌倉と言われた、千葉県随一のお屋敷町巡りをしました。お屋敷町の名残か広大な敷地が多く、一昔前は古い佇まいがあったと思われる所もありました。多くは新建築の家が変わっていました。近くに茶席菓子でも有名な菓匠若柳があると聞き、暑さで疲れていたにもかかわらず、探し訪ねて買い物もしました。京成八幡駅まで20分程歩き2駅目の中山駅で下車。駅近くの日蓮宗大本山の寺院である法華経寺へ(鎌倉時代の文応元年1260年創立)。総門(黒門)をぬけると両側には山内寺院が立ち並び、境内には五重塔、日蓮の銅像、鬼子母神堂等々時間があれば見学するものが多い寺院でした。参道の茶屋で一息つき、本八幡-日暮里-池袋と乗り継ぎ、西武池袋線保谷駅に着いたのが18時ごろでした。膝の痛みで参加できなかった久恵さんも加わり打ち上げをしました。暑さと久しぶりに歩いた後のような重とお酒の美味しかったこと。今後の行事予定の確認、ブリテン原稿の割り振りをし、22時ごろ散会しました。

出席者：御園生会長・大谷・小山(憲)・小山(久)・柴田

## 富士山合同例会

小山久恵

9月24日(土)1時に河口湖のベルに集合し、露木さん運転の山梨YMCAのマイクロバスで佐藤小屋へ。移動中に雨が降りだし、降りる頃にはかなり激しくなっていました。同時に到着した、麓から登ってきた人たちは濡れ鼠でした。

五合目ではもう寒く、火のそばで、ダウンにくるまりながら、例会開始まで、大野勉さんのギター伴奏で歌を歌って過ごしました。



3時15分、大広間で第1部の例会が始まりました。あっこちゃんから、施設で過ごすにあたってのオリエンテーションがあり、原会長による開会点鐘、全員でワイズソングを歌い、ワイズの信条を唱え、原会長と御園生会長の挨拶、ゲストと参加クラブの紹介がありました。この例会は、あずさ部部长公式訪問のため、浅羽部長の挨拶もあり、ハッピーバースデー、ニコニコ献金、諸報告と進み、YMCAの歌を最後に御園生会長による閉会点鐘で終了しました。



【外は大嵐のため、初めての室内での記念撮影。】

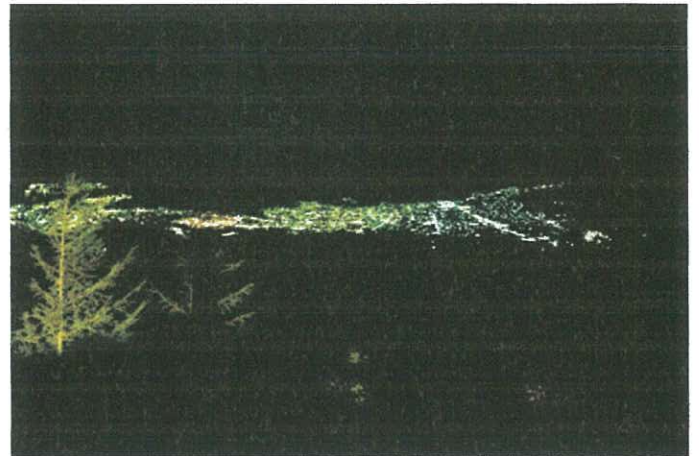
第2部懇親会の準備時間を利用して、あっこちゃんから再び今後の予定のオリエンテーション続編、そして、駒山祥子さんのミニ講演「マラソンに魅せられて20年」を聞きました。小池さんのノルディックウォーキングのお弟子さんで、富士山ガイドをなさっている方です。最初はホノルルマラソンに参加し、その後、ニューカレドニアマラソンに毎年参加。ニューカレドニアの魅力をたくさん話してくださいました。

この日、かねて病気療養中だった望月さんが、お元気な姿を現し、病状経過をお話しになりました。肺にたまった膿瘍が大きくなったため、針を刺して取り除く手術を数日前に行い、成功して、体調も快方に向かっているとのこと。一同、大喜びしました。本当に良かった。

第3部パーベキュー&懇親会は5時15分に浅羽部長の乾杯で始まりましたが、外はまだ雨だったため、大広間で食しました。途中で雨も止み、皆外に出て、各クラブのスピーチ、参加者同士の語らいで、時は進み、8時30分に日帰り組みは下山。お泊まり組も早々とベッドに入る人が多く、ほんの数人が秋の夜長を楽しみました。



【大嵐の中、ゴーグルをつけての焼き組。】



【久しぶりの下界の夜景(富士吉田・河口湖。】

翌25日、4時45分に御来光ウォークがあり、大勢が集まりました。サンライズは朝食の準備のお手伝いをしました。予定より早く、7時に朝食、8時30分に佐藤小屋を出発し、奥庭を散策しました。お天気も上々、小池さんと望月さんの懇切丁寧なガイド付きで、気持ちの良いお散歩でした。締めくくりは河口湖インター近くの温泉でくつろぎ、昼食を取って解散となりました。富士五湖クラブの皆様、お世話になりました。

サンライズの参加者：御園生会長、小山(憲)、小山(久)、長津



【奥庭散策】

## 山手バザー

地域奉仕委員会

10月16日(日)10時、山手センターにご集合ください。山手バザーが開催されます。今年も「水餃子」の販売でお手伝いします。恒例の「おでん」も何とか販売しようと思います。売り子の手伝いができる方は10時までに山手センターへお越しください。サクラでご協力いただける方は、適宜食べに来てください。尚、バザー終了後、第二例会を行いますので、午後3時を目途に山手センターへご集合ください。大勢の参加をお願いします。

## 山中クリスマス

山中クリスマス委員会

今年の山中クリスマス・合同例会は12月3日(土)13時より、山中湖センターにて開催されます。地域の子どものためのクリスマスの出し物は、昨年同様ページェントとビンゴです。出演者とビンゴの景品を募っています。ご協力をお願いします。

例年通り富士五湖クラブとの合同クリスマス祝会も行われますので、ぜひご出席下さい。



## 西条便り

今月は休載します

## 今月の京都プリンスクラブ

今月は休載します

## 10月の強調月間：EMC-E

会員増強委員会

新クラブ設立の事。ワイズ究極の課題は会員増強です。その中で最も効果のあることが新クラブの設立です。メンバーを増やすことも大事ですが、2019年の設立30周年を記念して、若い人たちのクラブを立ち上げたいものです。

## 10月の強調月間：YES

交流委員会

新クラブ設立のための国際基金。国際に集められた献金は、各エリアに配分されて、その地域の新クラブ設立のために使われます。東日本区の一人当たりの献金目標額は500円。

## 京都部会

小山久恵

今期の京都部長は、サンライズのDBCである京都プリンスの廣井さんということで、行って参りました。

9月11日(日)京都プリンスホテルにて15時開会。第1部式典は、各クラブのパナーセレモニーから始まり、開会宣言、点鐘、ワイズソング斉唱、聖書朗読、祈祷の後、部長の開会挨拶、京都YMCA総主事と西日本区理事の祝辞、部役員紹介があり、部会の前に開かれた評議会報告、そしてホストクラブである京都プリンスの蒔田会長の挨拶、YMCAの歌で閉会点鐘となりました。YMCAの歌は2番までしか歌わないそうで、3番を声高らかに歌って恥をかきました。

第2部アトラクションでは、部長主題「子どもたちの未来のためにさあ始めよう、ワイズの叡智を行動で」に則して、子どもたちの太鼓演奏と高校吹奏楽部の演奏、それに加えて京都YMCAの国際協力、青少年支援活動の紹介がありました。

いよいよ第3部で懇親、交流会。オープニングに、総勢50人によるダンスパフォーマンスが披露され、その中に京都プリンスのメンバーの面々が混じっていました。お家でかなり練習なさったとか、様になっている人と笑えてくる人と... テーブルではメンバーやメネットの方々とお話し、楽しい時間を持つ事ができました。8時にはお開きとなり、その後ホテル内の別の場所で二次会があり、ここでも盛り上がりました。

この京都部会、出席者が420名を超えたにもかかわらず、例年と比べると少ないそうです。顔触れも、若い人が多く活気に満ち溢れていました。京都プリンスも新入りメンバーが大活躍でした。老いも若きも、古手も新入りもうまく溶け合い、今後の発展が期待できます。サンライズも見習わねば、と心した部会の一夜でした。

## 山中湖センターだより

今月は休載します

## YMCA News

今月は休載します

## 東日本区ニュース 第4号

2016年10月1日発行

東日本区理事 利根川恵子

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

## ひよこのつぶやき

Vol:180

## 乗り鉄旅 2

小山憲彦

10月8日(土)東広島とのDBC交流会(来月号で長津さんが報告)の後、2日間長津さんと中国山地の鉄道旅を楽しみました。

9日早朝西条を出発して広島で芸備線三次行きに乗車。折返しの列車は大雨のため11分遅れでの到着。発車は3分遅れ。三次での乗り継ぎは4分なので間に合うか心配。ところが下深川駅でまさかのエンジントラブル。運行は打ち切り。しかたなく次の列車(キハ47型2輦編成)で三次へ。今回の目玉は三江線。私の中では乗継不便ベスト3の路線。直行便はなく、一日3便の乗継列車しかなく、予定の便を逃すと後の予定は全てお仕舞。やむなく三次のみどりの窓口で30分かけて経路の変更。ゆっくりと時間をかけて昼食を済ませ、芸備線で備後落合へ向かう(キハ47型単行)。木次線との乗換駅で急行も走り昔は賑わっていた備後落合の駅も今では山間の寂しげな無人駅。それでも鉄キチとおぼしき老若男女が2~30人写真を撮っていました。接続で乗換えた新見行きの列車は新型のディーゼル(キハ120型単行)。新見は伯備線の乗換駅。その割にはとても小さな駅で売店もなく、ビールを求めて街をさまよいました。津山行きもキハ120型単行で、この列車にも10数人の顔見知りに乗車していました。休日の芸備線は途中乗降の余り多くない乗客を除き、そのほとんどが鉄キチの感がありました。津山到着後、長津さんにホテルを捜してもらい無事宿泊。夕食はホテル内の居酒屋で済ませました。

10日は津山の扇形機関庫を使って造られた博物館を見学。各種の気動車に交じってD512が展示されていました。この日は姫新線で姫路へ向かいました。キハ120型単行で先ず智頭急行との接続駅の佐用へ。乗換えて播州新宮へ。ここで2両編成のキハ125型に乗換えて姫路へ向かいました。何で2度も乗換えるのか。姫路で弁当を購入し播但線で寺前へ(113型電車2連)。寺前からはディーゼル単行に乗換え和田山へ。ここから山陰線福知山を經由して谷川(281型電車特急4連)。加古川線に乗換え、西脇で乗り継いで加古川へ。新快速で西明石へ向かい、弁当とビールを調達し、新幹線ひかりの自由席(超満席で、なんとか二人並んで座れた)で東京へ向かいました。通路を歩くのも不自由で、トイレもタバコも苦勞しました。とても楽しい旅になりました。